

意匠性塗材塗替え用ハルス複合塗料



# GRANADA FRESH

グラナダフレッシュシリーズ



菊水化学工業は砂壁状塗材「リシン」のパイオニア。

50年の実績が生み出した新しい改修塗材。

砂壁状の風合いをそのままに 外壁が美しく蘇る。



**kikusui**

Kikusui Chemical Industries Co., Ltd.  
Nihon Seimei Hirokoji Bldg, 19-25 Nishiki  
2-chome, Naka-ku, Nagoya-shi 460-0003, Japan

**F☆☆☆☆**

グラナダフレッシュ :NSK-1704010  
グラナダフレッシュF :NSK-1708065

# GRANADA FRESH

グラナダフレッシュ

(意匠性塗材塗替え用ハルス複合シリコン樹脂塗料)

グラナダフレッシュF

(意匠性塗材塗替え用ハルス複合ふっ素樹脂塗料)

## 新築時の質感をそのままに

古くなった砂壁状、土壁状の独特な風合いを生かします。

既存パターンをつぶすことなく、マットで落ち着いた素材感のまま美しい壁に蘇らせます。

## 特徴

### ◆質感を保った優れた作業性

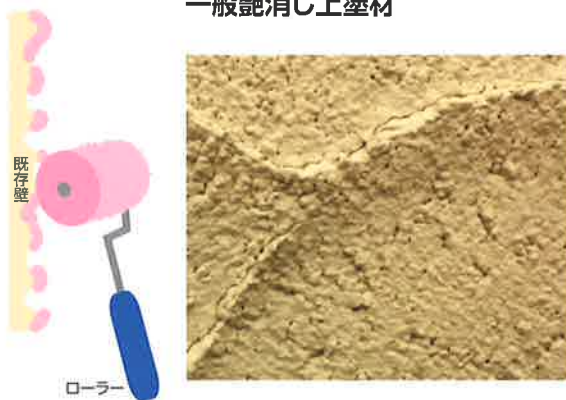
既存塗膜の凹凸部にまんべんなく入り込み、簡単に塗り残しのない美しい仕上がりが可能です。

#### グラナダフレッシュシリーズ



細かい骨材が素早く凹凸部分に入り込みます。  
独特な風合いを損ねることなく新設のような  
美しい仕上がりに。

#### 一般艶消し上塗材



意匠性の高い砂壁状、土壁状の独特な凹凸面  
に入りにくく、全ての凹凸に塗り込むと、パターンや  
質感を損ねてしまうこともあります。

### ◆塗装工程

ローラーからの塗着がとてもスムーズで、作業者への負担が軽い優れものです。

既存塗膜が健全で、同系色での塗替えの場合、下塗りなしで施工できます。※色調によっては下塗りが必要となる場合があります。



既存下地



グラナダフレッシュ  
シリーズ 1回目



グラナダフレッシュ  
シリーズ 2回目



仕上がり

#### 用途

内外壁面の塗替え

#### 適応下地

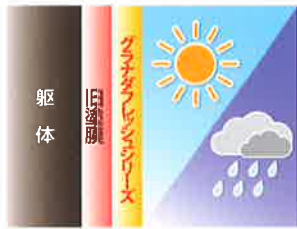
砂壁状、土壁状、スタッコ、砂岩調等の意匠塗材

#### 荷姿

グラナダフレッシュ 20kg/缶  
グラナダフレッシュF 20kg/缶

## ◆高耐候性

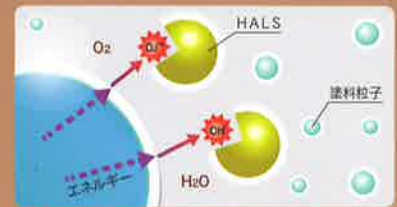
グラナダフレッシュは、アクリルシリコン樹脂とHALS\*の優れた効果により、紫外線や熱の劣化原因から壁面を長期間にわたり保護します。



グラナダフレッシュFは、超耐候性のふっ素樹脂を使用しているため、グラナダフレッシュよりもさらに優れた耐候性を発揮します。

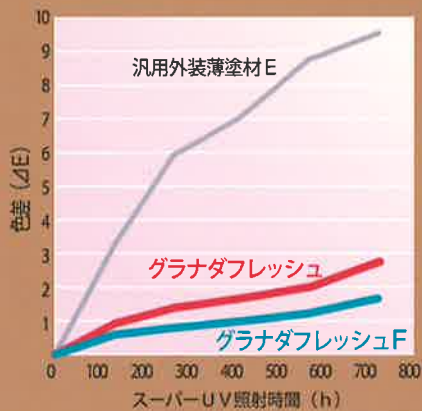
**HALS**  
とは？

HALSなら劣化要因(ラジカル)をしっかり捕まえます。長期間にわたり壁面を保護します!!



\*HALS(ハリス) ヒンタードアミン系光安定化剤 (Hindered Amine Light Stabilizer) の頭文字からとった略語です。

## 促進耐候性試験(スーパーUV)



グラナダフレッシュは汎用外装薄塗材Eと比べ、色差が小さく、優れた耐候性を示します。グラナダフレッシュFは、さらに耐候性が優れているので、強い紫外線を長時間浴びても劣化しにくい塗料です。

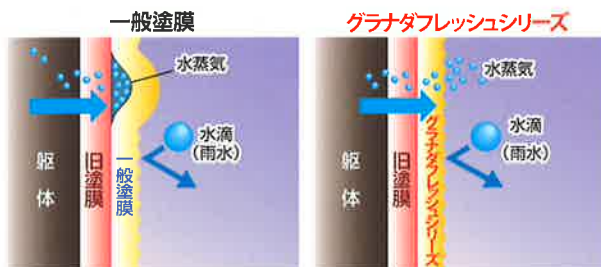


※色差は、試験前と試験後の色の差です。数値が小さいほど耐候性が優れています。

※色、施工状況により、退色の具合は変わります。

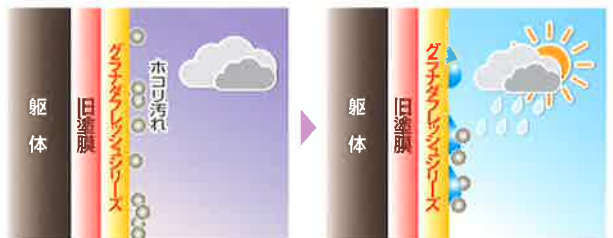
## ◆透湿性

透湿性に優れ躯体内の水分を水蒸気として外部に透過し塗膜の膨れを防止します。



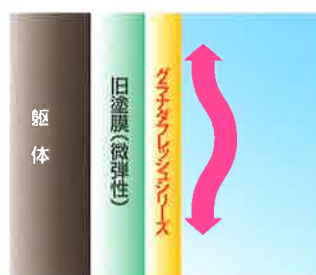
## ◆低汚染性

塗膜表面の親水性による自浄作用(汚れを雨で落とす機能)で汚れを防ぎます。



## ◆微弾性適応

旧塗膜が微弾性的の場合でも施工することができます。



## ◆防カビ・防藻効果

カビや藻は人の健康にも影響する場合があります。優れた防カビ・防藻性により、カビや藻の発生を抑え、安心して快適な住空間を維持します。



# 標準施工仕様書

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	7MPa以下の水圧で水洗いを行って下さい。洗浄後は十分に乾燥させて下さい。 ゴミ、未硬化セメント粉末、粉塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去して下さい。				
上塗り	グラナダフレッシュ 主材:20 kg 清水:1.0~2.0 L (5~10%)	ウールローラー(中毛) はけ 等	2	工程内2以上	20~40㎡/20kg 0.5~1.0kg/㎡
	グラナダフレッシュF 主材:20 kg 清水:1.0~2.0 L (5~10%)	ウールローラー(中毛) はけ 等	2	工程内2以上	20~40㎡/20kg 0.5~1.0kg/㎡

既存パターン塗替え例 (グラナダシリーズ)	所要量 (kg/㎡)	1缶あたりの 塗装面積(㎡)
 <p>リシン</p>  <p>フィン</p>	0.5~0.8	25~40
 <p>デコ</p>  <p>シエラL</p>	0.6~0.9	22~33
 <p>アンデス</p>  <p>スタック押え</p>	0.8~1.0	20~25

※既存塗膜が健全な状態であることを想定しています。

※上記の各数値は全て標準のものです。施工方法、施工条件により多少の幅を生じることがあります。

※ゆず肌仕上げなど比較的フラットなパターンに施工した場合、ムラを生じることがあります。

## 下塗り

極端な色替えや、脆弱で吸い込みが著しい場合には下塗りを施工してください。

※脆弱で吸い込みが著しい、又は巣穴が多い下地の場合、下塗り(推奨:キクスイ浸透性プライマーE)を施工してください。

※濃い色の下地の場合は、白色下塗り(推奨:キクスイプライマースーパーWEなど)を施工してください。



既存塗膜

下塗り

グラナダフレッシュシリーズ

工程見本

既存塗膜

グラナダフレッシュシリーズ



カラーNo. KN040D

カラーNo. KN033E

Color Variation



(注) 1. この色見本は台紙に塗付したもののため、現物の仕上がりとは多少違う場合がありますので、予めご了承ください。  
 2. 色により、耐候性に差がある場合もございますので、予めご了承ください。  
 3. ※印は濃色のため、材料費が割高になります。  
 4. カラーNo. は弊社管理 No. です。  
 5. 色調の有効期限は 2023 年 6 月です。

## 施工上の注意事項

- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合、(高湿度、結露、降雨等)塗膜表面が白化する場合があります。施工場所の気温が5℃以下、湿度85%以上又は結露の発生が考えられるなど、水分の影響を受ける可能性がある場合は、施工を行わないで下さい。また、低温又は高湿度時は、乾燥が遅くなりますので施工を行わないで下さい。
- 下地がコンクリート、モルタルの場合は、下地の乾燥を十分行ない、含水率10%以下、pH 10以下で施工して下さい。
- 外部の施工で降雨、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工を行わないで下さい。
- 施工時は換気を十分に行なって下さい。
- 施工時は飛散防止として養生は十分に行なって下さい。
- 直射日光下や屋外、0℃以下での保管はしないで下さい。
- かびや藻が発生している場合は、塩素系漂白殺菌剤「KSクリーナー」などで殺菌洗浄を行って下さい。
- コンクリート下地の旧塗膜の劣化が著しい場合や吸込みの著しい場合は、劣化塗膜を除去した後に、「キクスイ浸透性プライマーE」や、「キクスイSPパワーシーラー」を使用して下さい。
- 無機塗料、特殊下地の塗装及び特殊塗装の場合は、最寄りの弊社営業所にご相談下さい。
- 合成皮革、ゴムパッキン、塩化ビニル製品などは、塗膜との接触を避けて下さい。可塑性のブリードによる粘着が起きる場合があります。
- 絶えず水分の影響を受け塗膜の膨潤が発生するような部位、場所への塗装はしないで下さい。
- 蓄熱されやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業系サイディング、発泡ウレタン使用建材など)に塗装する場合は、蓄熱や水の影響、下地の状態、塗装時の環境など、いくつかの条件が重なることで建材の変形、塗膜の膨れ、剥離が生じることがあります。ご採用に当たっては最寄りの営業所にご相談下さい。
- ALCやコンクリートなどで巣穴、段差などがある場合は、セメント系下地調整塗料「BR#15」等で処理して下さい。
- 直射日光下で施工する場合は、適切な養生をし、下地表面の急激な温度上昇を防止して下さい。
- 既存塗膜の剥離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行って下さい。
- 各種標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工して下さい。
- 上塗りの希釈量は所定の量により、所定の所要量を守り事前の試験塗りなどで決定して下さい。希釈の過多、不足はダレや隠れ不足、仕上がりがムラの原因になります。
- 塗料は均一にミキサーで攪拌してから使用して下さい。
- ローラー塗りの場合は、ローラー目は同一方向に揃えるように仕上げて下さい。ローラー目により、色相や仕上がりが異なって見えることがあります。
- 被塗物の形状、膜厚、塗回数、希釈量などの違いにより実際のつやと異なって見える場合があります。また、刷毛・ローラー塗装時の塗継ぎ箇所でも起こる場合があります。特につや調整品は、被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間等により、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、試し塗りの上、本施工して下さい。
- つや調整品は、塗料が分離しやすいので、良く攪拌しながらご使用下さい。
- 傷などで補修塗りが必要な場合がありますので、補修用に使用塗料の控えを取っておき、同一塗料、同ロット、同一方法で補修して下さい。
- 濃色や原色に近い色彩では塗膜を強く擦ると色落ちすることがあります。衣類などに触れる可能性のある部位への施工は行わないで下さい。施工する場合は、クリアーによる保護塗装を行って下さい。
- 上塗りに黄色、赤色、青色、緑系の彩度の高い色を塗装する場合、隠れ性が不足する場合がありますのであらかじめ中塗りとして共色を塗装して下さい。
- 色、模様決定に当たっては事前に見本板を確認して下さい。
- 水性塗料には動物毛の刷毛は固まり塗装に支障が出ますので化繊の刷毛を使用して下さい。
- 使用後は刷毛やローラーなどは十分に洗浄して下さい。
- 他の材料と混合して使用しないで下さい。
- 希釈した材料を後日使用すると、色相が変わる場合があります。希釈した材料は、その日のうちに使い切るようにして下さい。
- 施工面とその周辺(車や付帯設備を含む)や床などに汚染や損傷を与えないように注意し、必要に応じて、あらかじめ施工箇所周辺に適切な養生を行って下さい。
- 防藻、防カビ効果は、繁殖を抑制するものです。施工部位の形状、構造、環境条件によっては防藻、防カビ効果が十分に発揮されない場合があります。また、すでにカビ、藻が繁殖している場合は、下地処理として除去及び殺菌処理を行って下さい。
- ローラー塗装において、綿毛のローラーで水系塗料を塗装し泡が発生した場合は、糸毛のローラーを使用して下さい。
- 施工部位により、傾斜壁の下端部、水切りの無い部位、窓周りで水切りが不十分な場合、雨掛りの少ない部位などは低汚染性が十分に発揮されない場合があります。
- 塗料の機能を十分に発揮させるため、適正な塗付量を確認して下さい。
- 施工後、塗膜が乾燥するまでの間に、塗膜表面に長時間水がかかった状態になりますと、艶引け、ひび割れ、変色等が発生する場合があります。
- 乾燥途中で降雨等が予想される場合は、シート養生を行うなどして、塗膜表面に水分が当たらないようにして下さい。
- 各シーリング材は可塑性を含まないノンブリードシーリング材を使用して下さい。また、シーリング材の上へ直接施工する場合、シーリング材の種類や材齢によって塗膜が付着しない場合があります。詳しくは最寄りの営業所にご相談下さい。
- 大きな動きが予想される部位への塗装は、塗膜がひび割れまたは剥離する可能性があります。
- 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると変色したり、溶解することがあります。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず施工面のマスキングを行って下さい。

## 安全衛生上の注意事項

- 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート/旧MSDS)を参照して下さい。
- 取扱後は手洗い、うがいを十分に行なって下さい。
- 適切な保護手袋、保護眼鏡、防毒、防塵マスクなどを着用して下さい。
- 目に入った時は直ぐに水で洗い、速やかに医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は速やかに医師の診断を受けて下さい。
- 皮膚についた場合は、多量の水と石鹸で洗って下さい。また、皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断を受けて下さい。
- 粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった場合は、安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。
- 使用後保管する際は無希釈の状態ですっかり密栓して冷暗所に保管し、できるだけ早目に使用して下さい。
- 缶の取手は手さげ専用です。ロープやフックで吊り下げると外れることがあり危険です。絶対に行わないで下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 塗料や塗料の付いた布などを処分する際は、法令に従い産業廃棄物として処理して下さい。
- 塗料、塗装器具を洗浄した汚水はそのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、汚水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に依頼して下さい。

\*本仕様書の内容は予告なしに変更することがあります。施工に当たっては常に最新版の仕様書を参照し、適切な対策を取るようになって下さい。



本社/名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル  
☎052-300-2222(代)

ホームページ <http://www.kikusui-chem.co.jp/>



仙台支店 ☎022-706-5710

東京支店 ☎03-3981-2500

名古屋支店 ☎0568-69-5200

関西支店 ☎06-7668-5320

福岡支店 ☎092-935-4610